広島県電気工事工業組合技能競技大会　課題

テーマ　【TY0】　令和２年

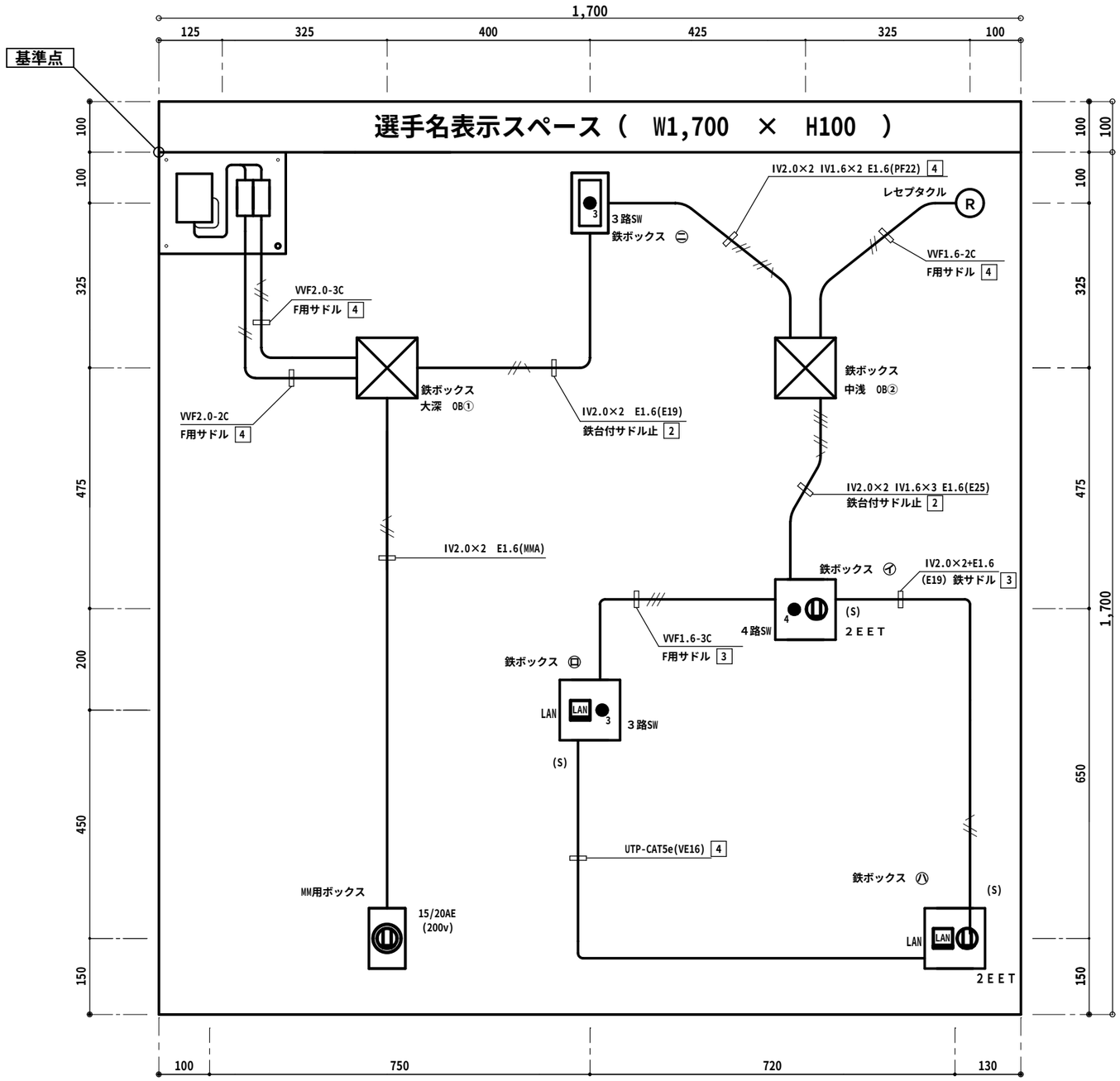
※下記の低圧屋内配線を指定された寸法と材料を使って時間内に施工して下さい。

［競技上の注意事項］

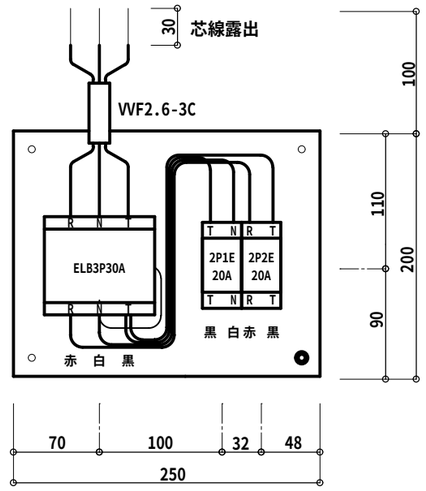
１．作業時間：１５０分
２．作業開始：審査委員長の作業開始の合図
３．作業終了：選手が担当審査委員に終了報告をした時刻
４．経過時間：６０･９０･１２０･１４０･１５０分(作業終了)を通知
５．作業範囲：各自の作業板前とする。
（但し、長尺電線管の切断時は、この限りではない）

［課題の説明］

１．課題は近年の住宅電気設備を想定し、照明配線並びにコンセント、200Vコンセントを含み、配線器具はコスモシリーズを使用する。
２．電源は単相３線式100V/200Vとし、分岐回路は100Vと200Vの２回路とする。
３．３路スイッチ・４路スイッチを使用した３箇所からレセプタクルのランプを点滅させる。
４．上記のスイッチからの戻り線は赤を使用するものとし、器具への送りは黒とする。
５．ＯＢ②における３路スイッチ配線は素通し配線も可とし、接地線他についても同様とする。
また、３路スイッチの内ボックス㊀においての電源線も同様とする。
６．３路スイッチにおけるVVFケーブルの色別については、審査対象外とする。
７．㊀における３路スイッチ「０」の送り端子を使用してはならない。ジョイントを行うこと。
８．配線器具(ｺｽﾓｼﾘｰｽﾞ)はﾌﾟﾚｰﾄ取付するが、配線器具自体は固定せず(審査の為)浮かせた状態とする。
９．㋑におけるコンセントの送り端子は使用して、結線は不要とする。
10．コンセント(200V)への配線は(赤、黒、緑)を使用する。
11．ボックスの取付は原則２点止めとする。
12．アウトレットボックス内のジョイントはすべてリングスリーブを使用する。
13．器具を取付けないアウトレットボックス（２箇所）及び器具内の接続必要箇所においては、カバーの取付および結線部分の絶縁処理を省略し、接続部をボックス外に出して接続部相互が接触しないように開放する。（審査上、仮設電源投入するため）
14．以下の作業は省略する。
・金属管および金属製ボックスの接地
・ネジナシコネクタの締付けビス頭のねじ切り
15．電線・雑材消耗品については余裕数をみています。
16．図面上の□は支持数を示す。



［分電盤詳細図］　S=1/5



１．分電盤は上図に従い作業時間の中で作成すること。（IV2.0電線の余長をもとに作成する）
２．分電盤はビス４本で作業板に固定し、右下の１箇所を接地端子とする。
なお、盤用木板は固定ビスの下穴加工をしたものを配布する。
３．漏電遮断器への配線接続は１・２次側ともに電線を直接端子に接続するものとし、１本の場合は輪を作って接続、２本の場合は左右どちらかに片寄らないよう挿入して接続する。
４．漏電遮断器の１次側配線（VVF2.6-3C）は、その先端を３０mm被覆を剥いで芯線を露出しておくこと。なお、このケーブルの固定は不要とする。
５．漏電遮断器は欠相保護付とし、過電圧検出リードはN相に接続すること。
６．分電盤へのケーブル配線はケーブル被覆を木板にのせること。
７．接地線については、木板固定ビスを仮の接地端子とし、ワッシャを使用して結線することで接地したものとみなす。
８．ブレーカーの固定には25mmのビスを使用する。

2020年8月1　改訂

Ａ３　Ｓ＝１／１０